

強度設計入門講座 動画正誤修正履歴一覧表

動画に下記の誤りがございましたので訂正しお詫び申し上げます。

改訂箇所		誤	正
回	項目		
第2回 (2)	前提知識	17:32 $T(N \cdot m) = W(N) \times R(m)$ $= 1000(\text{kg}) \times 9.81(\text{m}/\text{sec}^2)$	$T(N \cdot m) = W(N) \times R(m)$ $= 1000(\text{kg}) \times 9.81(\text{m}/\text{sec}^2) \times 0.1(\text{m})$
第3回 (4)	材料力学の基本概念	3:39 力を解除することを徐荷（アンロード）という	力を解除することを除荷（アンロード）という

過去の修正履歴（下記は修正済みです）

改訂箇所		誤	正	備考
回	項目			
第7回	応力一般理論と強度理論	$r/t=105$ 板厚 5.7mm	$r/t=93.8$ 板厚 6.4mm	改訂済み
第7回	応力一般理論と強度理論	最大せん断応力説の計算式 $r/t=oa/(p-1)=120/(1.2-1)=79$	最大せん断応力説の計算式 $r/t=(oa/p)-1=(120/1.5)-1=79$	
第7回	応力一般理論と強度理論	せん断歪エネルギー説の計算式 $3(r/t)^2+6(r/t)-25598=0$	せん断歪エネルギー説の計算式 $3(r/t)^2+6(r/t)-25596=0$	
第5回	演習問題 5-13 二段軸の解答	主動輪 A のトルク 主動輪 B のトルク	主動輪 A のトルク 従動輪 B のトルク	
第6回	演習 6-8 梁(はり)の応力とたわみの 解答のモーメント図の単位	N・m	N・mm	
第3回	材料力学の基本概念 引っ張られた材料の力学 特性：降伏段階	第2の段階 鉄や樹脂の試験片では首が細くなるネッキング現象が見られます。	第2の段階では、樹脂はネッキング現象が見られますが、鉄（軟鋼）では見られません。鉄（軟鋼）におけるネッキング現象は応力歪線図の点 e から点 f で見られます。	
第5回 (1)	材料の基本変形その2	 内力 T の矢印の向きが逆になっています。		
第7回 (2)	応力一般理論と強度理論	6:46 $\frac{1}{E}\sigma_1 - \nu(\sigma_2 + \sigma_3) > \frac{\sigma_y}{E}$	$\frac{1}{E}\{\sigma_1 - \nu(\sigma_2 + \sigma_3)\} > \frac{\sigma_y}{E}$ 式に括弧が抜けておりました。	

第7回 (3)	応力一般理論と強度理論	15:07 ナレーション および 16:19 スライド内の最大ひずみ説の板厚 に間違いがありました。誤) 5.7mm	正) 6.4mm	
第7回 (3)	応力一般理論と強度理論	「強度理論の比較(薄肉円筒:内圧Pを受ける)7分47秒付近の説明」 以上、任意の位置のブロックには、主応力 とせん断応力が生じていましたが、...	以上、任意の位置のブロックには、垂直応 力とせん断応力が生じていましたが、...	
第2回	前提知識(2) 演習問題(16:16)	9.81m/sec ² の読み方 メートルパー パー 毎秒毎秒	メートル毎秒毎秒	